

新元号の発表を2日後に控え、カレンダーやはんこ製造会社では準備に追われている。

東京のはんこ製造販売会社「吉報堂」（東京都豊島区）では新元号の発表後、書類に記された平成の文字を二重線で訂正し、「新元号」を押すゴム印を



新元号 高まる商機

製造するが、すでに企業や学校などから約600個の注文があった。約1万個の見積もり依頼も来ており、「対応で手いっぱい」（同社）という。

カレンダーの企画・制作を手がける「トライエックス」（埼玉県八潮市）は、改元する5月以降の部分に新元号を入れたカレンダーを約2万部作製し、販売する。新元号の発表後すぐに出せるよう製作期間も大幅に短縮。同社は「平成のままでは、メーカーとして悔いが残る」と話していた。△関連記事1面▽



⑤新元号に対応した印鑑の製造に備えるはんこ業者⑥元号と二重線がひとつになった「元号訂正印」。「平成」の部分には新元号が入り、発表後に生産される（27日、東京都豊島区で）＝菅野靖撮影